

専任教員の教育・研究業績

所属 体育学部	職名 講師	氏名 坂田 実加	大学院における研究 指導担当資格の有無	無		
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
「数学」授業資料のWeb上への公開		2020年度～現在	「数学」の授業資料を全てWeb上に公開し、本学の学生であれば自由に閲覧・印刷できるようにしている。			
「統計基礎」授業資料のWeb上への公開		2021年度～現在	「統計基礎」の授業資料を全てWeb上に公開し、本学の学生であれば自由に閲覧・印刷できるようにしている。			
「統計実習」授業資料のWeb上への公開		2021年度～2022年度	「統計実習」の授業資料を全てWeb上に公開し、本学の学生であれば自由に閲覧・印刷できるようにしている。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項						
<b>II 研究活動</b>						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初 (始) 頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
On multiple zeta values of extremal height	M. Kaneko and ©M. Sakata	Bulletin of the Australian Mathematical Society	93-2	186頁～193頁	2016年4月	
Taylor series for the reciprocal gamma function and multiple zeta values	M. Sakata	Proceedings of the Japan Academy, Series A, Mathematical Sciences	93-6	47頁～49頁	2017年6月	
On multiple zeta values and finite multiple zeta values of maximal height	H. Murahara and ©M. Sakata	International Journal of Number Theory	14-4	975頁～987頁	2018年5月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月
研究ノート	高さが最大、最小の多重ゼータ値の間の関係式	単 坂田 実加	第8回数論女性の集まり報告集		44頁～48頁	2015年
研究ノート	ガンマ関数と多重ゼータ値1	単 坂田 実加	第15回数論女性の集まり報告集		42頁～47頁	2022年
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内 (一般演題)	2017年2月18日	第136回日本数学会九州支部例会	高さ最大、最小の多重ゼータ値間の関係式の一般化	福岡教育大学	坂田 実加	
研究会	2017年2月19日	第10回多重ゼータ研究会&第34回関西多重ゼータ研究会 (共同開催)	高さ最大、最小の多重ゼータ値間の関係式の一般化	近畿大学	坂田 実加	
研究会	2017年3月15日	神戸大学代数セミナー	高さ最大の多重ゼータ値について	神戸大学	坂田 実加	
研究会	2020年10月16日	Friday Tea Time Zoom Seminar	高さ最大の多重ゼータ値について	名古屋大学	坂田 実加	
研究会	2022年6月11日	第15回数論女性の集まり (WINJ2022)	ガンマ関数と多重ゼータ値1	東京工業大学	坂田 実加	
研究会	2022年9月24日	2022大分熊本整数論研究会	フルハイトの多重ゼータ値の積について	くまもと県民交流館パレア	坂田 実加	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額 (期間内の総額)	
科学研究費	特別研究員奨励費	多重ベルヌーイ数のp-orderとp進L関数および岩澤理論の研究	代表	2014年度～2017年度	2,500,000円	
特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動				
期 間		内 容		
加入学会				
2014年10月～現在		日本数学会 会員		
社会的活動				
Ⅳ 管理活動				
期 間		内 容		
委員会活動				
2020年4月～2021年3月		FD委員会 委員		
2021年4月～2023年3月		研究委員会 委員		
2021年4月～2023年3月		全学図書館委員会 委員		
2021年4月～現在		カリキュラム委員会 委員		
2022年4月～現在		全学研究公正委員会 委員		
特別プロジェクト活動				
Ⅴ クラブ活動の指導業績				
1. 指導クラブ名	部	2. 役職	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない			
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日
6. クラブの競技力向上への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
8. 部員の就職指導への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所	
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)				
開 催 期 間	大会名	成 績	場 所	
Ⅵ 賞罰 (職務に関する賞罰)				
年 月	受賞等機関名	内 容		備 考